２０２４年 9月 5日
第37号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人 椀田優一
編集 情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

9/4 提案 業務委託の一部解消及び乗務員による分割・併合作業の実施について 提案を受ける

横浜地本は横浜支社から、表題の提案を受けました。提案時の議論の概略は以下の通りです。

１．実施内容

(株)JR 東日本運輸サービスによる熱海駅での分割・併合作業の業務委託を一部解消し、乗務員による分割・併合作業を実施する。

２．実施箇所

小田原・伊豆統括センター(熱海事務所)

３．実施時期

2025年春　※具体的な実施日は決定しだい示す

【提案時の主なやりとり】

組　合	会　社
実施時期を 2025 年春とした根拠は何か？ ダイヤ改正に合わせた実施となるのか？	**教育を含めて実施できると判断した。** ダイヤ改正については明確には決まっていない。
東海道に複数ある乗務区の中で、**熱海事務所のみを対象とした理由は何か？** 他区への拡大は考えているのか？ **異常時にはどのように対応するのか？**	対象を熱海事務所としたのは、**立地が熱海駅であり、人数規模も小さく、教育に適するためである。** 現時点で他区への拡大はない。**異常時は他区が当該作業に当たらないよう調整する。**
熱海駅の駅社員による機器扱いは考えているのか？	熱海駅の駅社員が機器扱いをすることは考えていない。
「業務委託の一部解消」とあるが、**対象となる列車、車種はどのように考えているか？**	**対象列車は決まっていない。** これから JR 東日本運輸サービス（JETS）と調整する。**車種は E231/E233 系と E257 系のどちらにも対応できるよう準備する考え**である。
E257 系は自動ホロの不具合が多い。本線乗務員では対応が厳しいのではないか？ 分割不具合の場合、特急の運休にも直結する。	**E257 系の自動ホロが複雑なのは承知している。** E259 系は東京駅で本線乗務員が分割・併合を行っており車両を借用して訓練できると考えている。
E259 系とは機器構成や操作盤も異なる。 **E257 系の現車を使用した訓練ができるのか？**	**現車の借用や、熱海駅での JETS 作業の見学など**を考えている。
本線乗務員が**新たに取扱う、自動解結スイッチの教育はどのように行うのか？** 他支社で連結不良の事象もあった。	**分割併合の訓練について、OJT で行っていく。** 他支社の連結不良の事象は調査中だが、対策が出たら教育に盛り込んでいく。
本線引上げの作業もある。トンネル内で車停が分かりづらい。どのように教育を行うのか？	引上げ線の停目などの教育は、**JETS 作業に添乗したり、指導員がビデオ撮影したものを活用するなど**の案が考えられる。
列車ダイヤや車両運用の変更で、**熱海駅の分割併合作業の削減や、作業方法の変更などを行う考えはあるか？**	**現時点で変更が決まっているものはない。普通列車を誘導信号機による連結に変更することは、できないことではない。**
JETS 熱海派出の体制はどうなるのか？「さらなる推進」施策によるエルダー雇用の場の位置付けは変わるのか？	JETS の体制は JETS が決めることである。**今回は委託の完全解消はしない。エルダー雇用の場であることは変わらない。**
JETS 熱海派出が行っている、座面取替やトイレ故障対応は、重要な役割である。会社の認識はどうか。	重要であるという主張は受け止める。

安全・安定輸送に直結する分割・併合作業の新たな受け持ちについて無理なく不安が解消できるよう、関係分会と共に議論をしていきます！